

「太平山麓九条の会」だより



事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757

電話連絡先 0282-22-7079(増田)

Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp

HP：太平山麓九条の会で検索

187号

2023年1月27日発行

戦争国家にさせてはならない！



タレントのタモリさんが、昨年の12月28日の「徹子の部屋」での放送で、「来年は新しい戦前になるんじゃないでしょうか」と発言し話題を呼んでいます。

日本国憲法前文には「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し」と謳っています。憲法を無視し、国会審議もなく勝手に突き進む軍拡。戦争国家にさせないために、軍拡許さない運動を広げていきましょう。

日本国憲法前文（部首略）
日本国民は、（省略）われらと我らの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言…（省略）日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて…（省略）われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する（省略）われらは、いずれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて。（省略）

平和が第一

大正大学名誉教授 宝蓮寺住職 齋藤 昭俊

年が明けてあらたまると今年も佳き年になることを願うのは誰しも同じだろうと思います。それにしても昨年は大変なことばかりでした。コロナの感染者は二千九百万人（昨年十二月概算）、ウクライナはロシアの暴挙によって殺され、破壊され、零下の気温の中で平和を望んでいます。

日本では昨年十二月に四人の閣僚が更迭され、戦費が拡大され、原子力規制もおかまいなし。何事も人ごとのように振舞う首相、この首相は傀儡のようです。後で操るものや国があるようです。国民の方は全く見ずに操り人形のように説明責任をくり返す。つまり日本は中国、北朝鮮、ロシアに対する防波堤で、戦力を増強して、防波堤を強国にしたいと考える人や国が黒幕、陰の人、国なのかも知れません。

日本は戦争の恐ろしさ、悲惨さを十分に知っているから、平和憲法九条を守って、平和を保つてきたのです。

振り返ってみますと、私の小学六年生の十二月に真珠湾攻撃から大戦が始まりました。小学校は国民学校になり、中学校（旧制五年制）にその翌年入りましたが、校門には五年生が衛兵のように二人が立っていて校門を入ると奉安殿に礼をする。学校には配属将校が派遣されていて、陸軍少尉の人だったと思いますが、授業には教練の間があつて軍隊式の訓練が行われました。二年生の終りの頃から軍事工場（現在の太平町日立製作所）に動員されて、私はフライ盤の係でした。後で聞いた話ですが、私たちが作っていたのは三十三ミリ機関砲であつたことでした。実戦に間に合わなかつたことと、ほっとしました。終戦が中学生四年生の八月十五日でしたから学校に戻つたのは、四年生の二学期からです。四年生の数学は微分積分、何のことも全く分らなかつたです。つまり中学の勉強は何もできなかったのです。戦後も私は大学予科に入ったのですが、食糧難のため、大学の授業は二年間で二ヶ月程でした。日本も落ち着くまで大分かかりました。

戦争というのは凡て犠牲にします。平和を保ってきた9条を、絶対に手渡しはならないことを強く訴えます。



お知らせ

- ・半田滋講演会 2月19日(日) 宇都宮総合文化センター 午後2時半～午後4時半(県民ネット総会午後1時15分～)
- ・浜矩子経済講演会 2月26日(日) 午後2時～ 壬生町城址公園ホール(リモートによる講演)

くからフェスタ 3月12日(日) 10時半～15時

太平山麓9条の会は、 栃木市民交流センター 絵本作家かこさとしさんの幻燈などします。(わっしょいわっしょいブンブン)



平和を望むなら平和の準備を

玉田文男記

ロシアによるウクライナ侵略以降、TV 報道に「防衛研究所」の方々が盛んに登場する。昨夜（1/12）「報道ステーション」を見ていたら、そこの高杉氏が登場し「台湾有事」の話で『中国は勝てると思った時に武力侵攻する』よって「勝てないと思わせる事が抑止力・それには台湾を守る日米同盟の強化が必要」と述べ、米軍による自衛隊との共同作戦の詳細を解説していた。大越キャスターが「ナルホド」と大いに納得。

ちょっと待った、と思い『・・「戦争は外交の失敗・政治の延長--外交は、武器を使わない戦争である』などの格言があります・・なぜ台湾有事が日本有事なのか？外交のガの字もない解説には大疑問！』と直ぐにメールで抗議した。

「防衛研究所」とは「防衛省のシンクタンク的な組織で、自衛隊における高級幹部等育成のための戦略大学レベルの教育機関」だという。平和憲法・9 条を持つこの日本で、その機関幹部がニュースの主役面して得々と解説している事が異常だと私は思う。「共同作戦」の美名のもと、米軍の支配下で沖縄を先頭に日本が戦場になるなど「まっぴらごめん」だ。

マスコミはもっと戦場のリアルを伝え、民意・国会を無視して、軍事費倍増、敵地攻撃、原発回帰など戦時体制に突き進むかのごとき岸田政権のありさまを追及してほしい。

加藤周一さん曰く「戦争の準備をすれば戦争の確率が高まる。平和を望むなら平和の準備をすべきだ」。



昨年末、官邸メールボックスに送信しました・・・。

玉田文男記

『日本の食料自給率は 37%、エネルギーは 12%。戦争で海上輸送が断られると日本は成り立たない！ 敵基地攻撃なんちゅうのは「妄想」です。敵の発射の兆候をとらえて撃つ=相手から見れば先制攻撃。日本海側に乱立する原発やられたら、われらオダブツ・・アメリカに従属した外交から脱却し「排他的軍事ブロックではない・包括的な平和外交」を必死で模索するしかありません。最近の岸田さん変ですよ。国会閉会後に「重大な政策変更」を行うなんて！そりゃーロシアのウクライナ侵略は絶対に許せませんし、中国の覇権主義的な動き、北朝鮮の挑発などなど大変なのは私たち国民も大いに心配しています。しかし、軍事力に軍事力で対抗しても、結局は核共有・戦争へとつながります。どう対応すべきか？ 通年国会で国民を巻き込んで大議論しましょうよ。』

※⇒[NHK・番組へのご意見・お問い合わせメールフォーム](#) |

[番組へのご意見・ご感想 投稿フォーム \(tv-asahi.co.jp\)](#)

[ご意見募集 \(首相官邸に対するご意見・ご感想\)](#) |



先生の持参した、聴診器を使い、友だちどうしで心臓の音を聞きあい、その感動を共有するこどもたち。そして、さまざまな業績を残した先生の「いのちとは？」に対する答えは・・・？

読むたびに私もこの教室に参加している気がします。地元の 4 年生に数年来、紹介している私のたいせつな一冊です。

(布施木とめ 記)

「いのちって なんてでしょう？」

「いきているとはどういうことだと思いますか？」・・・

・と、小学 4 年生に問いかけるのは 95 歳の現役医師の日野原重明さん。この 45 分間のいのちの授業を描いた絵本です。



日野原重明・文
村上 康成・絵

◇スタンディング 2月9日(木) 市役所前 19日(日) ケーズデンキ大平店前 午後3時～
◆スタッフ会議 2月9日(木) 12時～ 24日(金) 13時半～交流センター楽習館くらら2階